

疾病論V

試験問題

日南看護専門学校

2022年10月14日(火)実施

(試験時間30分 配点60点)

1. 腎臓について誤っているのはどれか。1つ選べ。

- a. 後腹膜臓器である。
- b. 加齢とともに機能は低下する。
- c. エリスロポエチンを産生する。
- d. ビリルビンを産生する。

2. 午前8時から24時間蓄尿を開始することになった。

蓄尿の方法で正しいのはどれか。

- a. 滅菌容器に蓄尿する。
- b. 開始日の午前8時の尿は蓄尿する。
- c. 終了日の午前8時の尿は蓄尿する。
- d. 排尿のたびに中間尿を採取して蓄尿する。

3. 二次性高血圧症の原因となるホルモンはどれか。1つ選べ

- a. アルドステロン
- b. ソマトスタチン
- c. グルカゴン
- d. メラトニン

78歳の男性が健康診断で腎機能の異常を指摘されて近医を受診した。約3ヶ月にわたり異常が続くため、専門医の受診を勧められて来院した。身長160cm、体重72kg、体温36.3度、血圧163/92mmHg、検尿で蛋白(3+)、潜血(+/-)、尿蛋白定量2.4g/gCr、血清クレアチニン値1.4mg/dL、eGFR 38.5mL/min/1.73m²であった。糖尿病の指摘はない。あまり運動の習慣はない。1日10本程度の喫煙を続けている。

90
60-89
40- 97A 45-59
44-30
8.15-0.45

4. 慢性腎臓病(CKD)重症度分類ではどれに当てはまるか。1つ選べ。

- a. CKD G3aA3
- b. CKD G2A3
- c. CKD G3bA3
- d. CKD G3bA2
- e. CKD G3aA2

5. この患者に対する説明で誤っているものはどれか。1つ選べ。

- a. 心筋梗塞や脳卒中の危険性が高い。
- b. 喫煙は続けても良い。
- c. 塩分制限は重要である。✓
- d. 適度な有酸素運動を勧める。

6. 高齢者の増加に伴い近年増加傾向にある透析導入の原疾患はどれか。1つ選べ。

- a. 慢性糸球体腎炎
- b. 腎硬化症
- c. 糖尿病性腎症
- d. 多発性嚢胞腎

7. 腎炎、ネフローゼ症候群の記載で正しいものはどれか。2つ選べ。

- a. ネフローゼ症候群では高コレステロール血症を認めやすい。
- b. 微小変化型ネフローゼ症候群はステロイド治療に抵抗性である。
- c. IgA腎症の治療では扁桃腺摘出術が有効である。
- d. 減塩食や低蛋白食などの食事療法は必要ない。

8. 血液透析で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a. カリウム制限は必要ない。
- b. 透析を行うためにバスキュラーアクセスが必要である。
- c. 月に2回程度の通院が必要である。
- d. 塩分制限は必要ない。

9. 腎臓移植について誤っているのはどれか。2つ選べ。

- a. 日本では死体腎移植の割合が欧米に比べて少ない。
- b. 移植後に免疫抑制剤の内服が不可欠である。
- c. 脳死下腎移植はまだ行われていない。
- d. 血液型が一致しないと実施できない。

Aさん(50歳、男性、会社員)は妻と高校生の息子との3人暮らし。仕事を生がいに働き続けていた。慢性腎不全のため透析治療が必要になったが、本人の希望で連続携行式腹膜灌流法(CAPD)を導入することになり入院した。

Aさんはこれからの生活がどうなるのかを看護師に質問した。

10. Aさんに対する質問として正しいのはどれか

- ①. 「食事療法が必要です」
- 2. 「通院は週に2、3回必要です」
- 3. 「宿泊を伴う旅行はできません」
- 4. 「カテーテル挿入術後の翌日から入浴できます」

11. Aさんはできるだけ早い職場復帰を望んでおり、入院中はCAPDの操作に熱心に取り組んでいた。退院後、CAPDを1日4回(0時、6時、12時、18時)行うことになった。Aさんが会社の昼休みにCAPDを行うために必要な設備はどれか。2つ選べ。

- 1. 透析液を補完する冷蔵庫
- 2. 透析液を温める電子レンジ
- 3. 透析液の交換時に使用する個室
- ④. CAPDの物品を保管する専用棚
- ⑤. 透析液の貯留中に使用するベッド

45歳の男性が健康診断で腎機能の異常を指摘されて近医を受診した。約3ヶ月にわたり異常が続くため、専門医を受診を勧められて来院した。身長160cm、体重72kg、体温36.3度、血圧163/97mmHg、尿蛋白(3+)、潜血(+/-)、尿蛋白定量2.4g/gCr、血清クレアチニン値1.4mg/dL、eGFR 38.6mL/min/1.73m²であった。糖尿病の指摘はない。あまり運動の習慣はない。1日10本程度の喫煙を続けている。

12. Aさんは「主治医からCAPDの合併症に腹膜炎があると聞きました。腹膜炎に早く気付くにはどうすればよいですか」と看護師に質問した。Aさんに指導する観察項目はそれか。2つ選べ。

1. 腹痛
2. 体重の増加
3. 腹部の張り
4. 下肢のむくみ
5. 透析液の排液のにごり

10. Aさんは「透析液の温度が低くてお腹が冷たくなるので、透析液の温度を上げてほしい」と看護師に訴えている。看護師はどのように対応するべきか。2つ選べ。

1. 透析液の温度を上げる
2. 透析液の温度を下げない
3. 透析液の温度を調整する
4. 透析液の温度を測定する

11. Aさんは「透析液の温度が低くてお腹が冷たくなるので、透析液の温度を上げてほしい」と看護師に訴えている。看護師はどのように対応するべきか。2つ選べ。

1. 透析液の温度を上げる
2. 透析液の温度を下げない
3. 透析液の温度を調整する
4. 透析液の温度を測定する

12. Aさんは「主治医からCAPDの合併症に腹膜炎があると聞きました。腹膜炎に早く気付くにはどうすればよいですか」と看護師に質問した。Aさんに指導する観察項目はそれか。2つ選べ。

1. 腹痛
2. 体重の増加
3. 腹部の張り
4. 下肢のむくみ
5. 透析液の排液のにごり

13. Aさんは「主治医からCAPDの合併症に腹膜炎があると聞きました。腹膜炎に早く気付くにはどうすればよいですか」と看護師に質問した。Aさんに指導する観察項目はそれか。2つ選べ。

1. 腹痛
2. 体重の増加
3. 腹部の張り
4. 下肢のむくみ
5. 透析液の排液のにごり

14. Aさんは「主治医からCAPDの合併症に腹膜炎があると聞きました。腹膜炎に早く気付くにはどうすればよいですか」と看護師に質問した。Aさんに指導する観察項目はそれか。2つ選べ。

1. 腹痛
2. 体重の増加
3. 腹部の張り
4. 下肢のむくみ
5. 透析液の排液のにごり

15. Aさんは「主治医からCAPDの合併症に腹膜炎があると聞きました。腹膜炎に早く気付くにはどうすればよいですか」と看護師に質問した。Aさんに指導する観察項目はそれか。2つ選べ。

1. 腹痛
2. 体重の増加
3. 腹部の張り
4. 下肢のむくみ
5. 透析液の排液のにごり

16. Aさんは「主治医からCAPDの合併症に腹膜炎があると聞きました。腹膜炎に早く気付くにはどうすればよいですか」と看護師に質問した。Aさんに指導する観察項目はそれか。2つ選べ。

1. 腹痛
2. 体重の増加
3. 腹部の張り
4. 下肢のむくみ
5. 透析液の排液のにごり

17. Aさんは「主治医からCAPDの合併症に腹膜炎があると聞きました。腹膜炎に早く気付くにはどうすればよいですか」と看護師に質問した。Aさんに指導する観察項目はそれか。2つ選べ。

1. 腹痛
2. 体重の増加
3. 腹部の張り
4. 下肢のむくみ
5. 透析液の排液のにごり

18. Aさんは「主治医からCAPDの合併症に腹膜炎があると聞きました。腹膜炎に早く気付くにはどうすればよいですか」と看護師に質問した。Aさんに指導する観察項目はそれか。2つ選べ。

1. 腹痛
2. 体重の増加
3. 腹部の張り
4. 下肢のむくみ
5. 透析液の排液のにごり

19. Aさんは「主治医からCAPDの合併症に腹膜炎があると聞きました。腹膜炎に早く気付くにはどうすればよいですか」と看護師に質問した。Aさんに指導する観察項目はそれか。2つ選べ。

1. 腹痛
2. 体重の増加
3. 腹部の張り
4. 下肢のむくみ
5. 透析液の排液のにごり

20. Aさんは「主治医からCAPDの合併症に腹膜炎があると聞きました。腹膜炎に早く気付くにはどうすればよいですか」と看護師に質問した。Aさんに指導する観察項目はそれか。2つ選べ。

1. 腹痛
2. 体重の増加
3. 腹部の張り
4. 下肢のむくみ
5. 透析液の排液のにごり

疾病論 4 腎・泌尿器 (松本先生)

令和 7 年 10 月 14 日実施



1	2	3	4	5
d	c	a	c	b

6	7	8	9	10
c	a, b	b	c, d	i

11	12
4, 5	1, 3

-20

5 点×12 問 (完答)

40
点/60 点